令和２年３月 31 日

2019（令和元）年度　自己評価・学校関係者評価書(結果公表シート)

学校法人スピノラ学園双百合幼稚園

1　教育目標

目標～神さまに愛されていることに気付き、神さまと共に歩む子ども
☆自分で考え　行動できる子ども
☆元気に活動する　たくましい子ども
☆心情豊かな子ども

2　本年度の重点課題

1　教職員の連携を密にしながら、互いに切磋琢磨し、資質向上を目指す。
2　環境を生かした保育内容の充実を図り、「双百合」のよさを更に高める。
3　地域の自治会、小中学校、関係機関等との関わりを深めていく。

3　評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況	学校関係者評価
1	キリスト教保育	B	・朝礼・食事・降園時の祈りや、週１回の「宗教の時間」を通して、神さまの愛に触れながら「双百合の４つの心」について考えることができた。 ・毎月の聖歌や宗教行事を通して、神さまの愛について深めるよう努めた。	A
2	教育課程の編成・実施に関して	B	・年間指導計画や月カリキュラムを作成し、学年毎に毎月の評価・改善を図った。 ・新幼稚園教育要領の趣旨や内容の理解に努め、保育計画の改善・充実を図った。	B
3	保育の計画性	B	・発達段階に合わせた教材選びやテーマを定めた系統性のある保育など、内容の工夫に努めた。 ・子どもの育ちや変容を、学年や他の教職員と共通理解することができた。	B
4	保育のあり方 幼児への対応	B	・一人一人の傾向や特徴を把握し、特に思慮や援助が必要な子どもについては、教職員で情報を共有することができた。 ・子どもへの対応も、学年や多くの教職員で共通理解しながら進めるよう努めた。	B
5	安全への配慮	A	・安全教育年間計画に基づき危機管理マニュアルを作成し、日常の保育に生かすことができた。 ・毎月の訓練や点検で、安全への意識を高めるよう努めた。	B

6	健康管理	B	・保健計画に基づき、手洗い・うがいの習慣化など基本的な生活習慣を養うよう努めた。 ・食物アレルギー等の健康管理を、保護者や給食調理業者等と連絡を取りながら進めた。	B
7	研修と研究	B	・時程や行事等の見直しにより、研究時間の確保に努めた。 ・外部研修や他園の公開保育等に積極的に参加することができた。	B
8	教師の専門性と資質の向上	B	・毎月、園内研修会を行い、外部研修の成果報告等により情報交換ができた。 ・専門家による教育相談や子ども支援の研修により、児童理解を深めることができた。	B
9	保護者や地域への対応	B	・保護者には丁寧、誠実に対応し、日常の電話や定期の個人懇談等で相互理解に努めた。 ・岸和田市、和泉市等の支援機関と連絡を取りながら、子どもの支援に生かすことができた。	A

評定；Ａ十分達成されている、Ｂ達成されている、Ｃ取り組まれているが成果が十分でない、
Ｄ取り組みが不十分

4　総合的な評価結果(重点課題を含め)

・教職員の連携を深めるため、「情報の共有」に努めるとともに、全体作業を始め様々な場面で「行動の共有」を進め、皆で子どもを育て、幼稚園をつくるという意識を高めることができた。
・ＨＰやお便り等で保育方針や子どもの姿を伝えるとともに、園紹介のビデオやポスターを作成し、より広い地域・保護者へ情報発信を行うことができた。
・地域の子育て支援機関との連携を進めたり、中学生の職場体験を受け入れたり、地域との関わりを深めることができた。幼小連携については、取り組みの具体化を図る必要があった。

5　今後の課題

・園の教育・保育内容の特徴や特色ある活動など、双百合のよさを様々な場面や方法で積極的に発信していく。
・地域との関わりを更に進め、子どもの支援や成長につなげていく。
・園内外の研修を積極的に進め、教職員の資質向上を図る。
・2020 年度は新制度園(施設型給付園)として、子育て支援の役割を高めるとともに、2021 年度の幼稚園型認定こども園に向けて体制作りを進める。

6　学校関係者の評価

・園の保育方針「のびのびと育つ」を更に伸ばしてほしい。
・双百合のよさを、多方面へアピールした方がいい。